

令和6年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	23012	事業名	関宿重伝建選定40周年記念事業			
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他( )					
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		予算科目	会計	01:一般会計
		基本施策	10:歴史文化を生かしたまちづくりの推進			款	10:教育費
		施策の方向	02:関宿重要伝統的建造物群保存地区の保護の推進			項	05:社会教育費
	重点プロジェクト	-		目		08:町並み保存費	
事業期間	R 6 年度	～	R 7 年度	主な根拠法令等	-		

評価分類	A1
------	----

担当部署	
部	市民文化部
課	文化課 まちなみ文化財G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	亀山市関宿伝統的建造物群保存地区が、昭和59年12月に重要伝統的建造物群保存地区に選定され、令和6年12月に伝建選定40周年を迎えるに当たり、記念事業を開催する。	市民(重要伝統的建造物群保存地区住民)及び他地域からの来訪者等	重伝建地区選定から40年を経過し、住民等の世代交代のタイミングでもあることから、改めて「関宿」に携わる様々な担い手と共に、これからの未来へ向けて保存地区住民等の機運を高め、更なる「保存と活用」の活性化を目指すことを目的に実施する。	令和6年度は、亀山市文化会館において、「記念シンポジウム」として、記念講演、関宿の紹介(映像)、芸能披露、表彰、パネルディスカッション等を実施する。また、「子どもワークショップ」として、関小学校において、「未来の関宿(仮)」をテーマに数回ワークショップを開催し、その成果を記念シンポジウムにおいて発表する。令和7年度は、令和6年度に実施した上記事業及び過去40年間を総括する記念誌を作製・発行を行う。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画			○記念シンポジウム ○子どもワークショップ	○記念誌作製、発行		
	活動実績 (計画通り実施できたか)			令和6年11月2日に亀山市文化会館において、「関宿重伝建選定40周年記念シンポジウム」を開催(来場者数:500人)し、映像による関宿の紹介、地元保存団体による芸能披露、記念講演、パネルディスカッション等を行った。また、地元関小学校において、次世代の担い手となる子どもワークショップ(開催回数:4回)の成果発表を行い、関宿の更なる「保存と活用」に寄与することができた。			
計画額	事業費	国・県支出金		2,700千円	2,689千円	1,000千円	
		地方債			0千円		
		その他			0千円		
		一般財源			1,500千円	1,500千円	500千円
		合計			1,200千円	1,189千円	500千円
決算額	事業費	国・県支出金			2,560千円		
		地方債			0千円		
		その他			0千円		
		一般財源			1,500千円		
		合計			1,060千円		
①期間内計画額(R4-7)		3,700千円	②期間外計画額(R8-)	0千円	①+②総計画額	3,700千円	

(令和6年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	2,689千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		記念シンポジウムの来場者数	重伝建選定40周年記念シンポジウムの来場者数	成果	人	計画値 実績値			500 500
	子どもワークショップの開催回数	児童等を対象としたワークショップの開催回数	活動	回	計画値 実績値			4 4	2
					計画値 実績値				

⑤ 成果 (C)	判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
	A	40周年記念として様々な事業を実施することにより、保存地区の住民や関宿に携わる様々な担い手の機運を高め、全国の重伝建地区へも情報発信を行うことができた。また、次世代の担い手となる小学生には、関宿のまちなみ保存についてワークショップ形式で学習する機会を創出したことにより、関宿の保存継承の意識醸成に寄与した。そして、当事業の一環として実施した「まちなみガイドツアー」では、住民等と市外の参加者との交流を図ることができた。
		十分な成果を得た

事業の対象	事業の目的
市民(重要伝統的建造物群保存地区住民)及び他地域からの来訪者等	重伝建地区選定から40年を経過し、住民等の世代交代のタイミングでもあることから、改めて「関宿」に携わる様々な担い手と共に、これからの未来へ向けて保存地区住民等の機運を高め、更なる「保存と活用」の活性化を目指すことを目的に実施する。

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	本事業を契機とし、今後も保存団体や地域住民との深い連携のもと、伝統的建造物群の保存・活用等の取り組みを進め、東海道の宿場町で唯一の伝建地区である関宿の歴史的風致を後世に継承していく必要がある。また、次世代を担う子どもたちに関宿への愛着や誇りを育むことを目的として、次の50周年に向けて機運醸成の機会を設けることが必要である。そして、関連事業として実施した「関宿かるた大会」についても、関宿の保存継承を推進させるため、継続して行う必要がある。

⑦ 事業の展開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和7年度で対応する(した)もの	令和8年度以降で対応するもの
	令和6年度に実施した様々な記念事業や、これまでのあゆみ等を後世に引き継ぐため、記念誌を発行し、更なる「保存と活用」の活性化を目指す。	令和7年度の記念誌発行をもって事業を完了する。

【履歴】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	成果判定			A	
事業展開			継続(現状維持)		

1次評価者	市民文化部 文化課 まちなみ文化財GL 豊田親臣
最終評価者	市民文化部 文化課 課長 井上和哉